



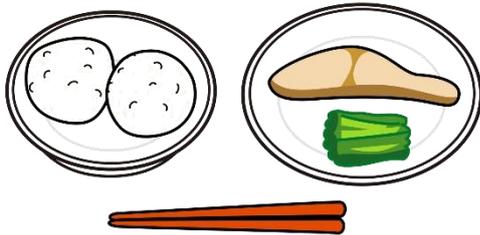
1月24日から1月30日は
がつ が がつ にち
 1月24日から1月30日は
ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
 全国学校給食週間です

きゅうしょくゆうびん
 松本市学校給食センター

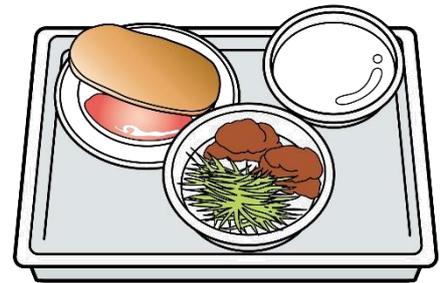
がっこうきゅうしょく 学校給食の歴史 れきし

にほん がっこうきゅうしょく めいじ ねんやまがたけん はじ
 日本の学校給食は明治22年山形県が始まりとされています。その後、今に至るまでに
さまざま かたち うつ かわ
 様々な形に移り変わっています。学校給食の歴史をみてみましょう。

めいじ ねん ねん
明治22年(1889年)



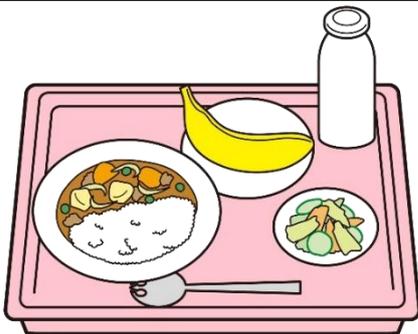
しょうわ ねん ねん
昭和22年(1947年)ごろ



やまがたけん しりつちゅうあいしょうがっこう べんとう
 山形県の私立忠愛小学校でお弁当を
 もってこられない子どもたちへ「おにぎり・
しお
塩ざけ・つけもの」を無償で提供したのが
がっこうきゅうしょく はじ
 学校給食の始まりとされています。

だい じ せかいたいせんご だっしふんにゅう こむぎこ
 第2次世界大戦後、脱脂粉乳や小麦粉の
ほしよ
 補助などがあり「**脱脂粉乳・コッペパン・ジャ
 ム・クジラの電田揚げ・せんキャベツ**」が給食
ていばん
 の定番でした。

しょうわ ねん ねん
昭和52年(1977年)ごろ



げんざい きゅうしょく
現在の給食



べいはんきゅうしょく かいし いま
 「米飯給食」が開始され、今までコッペ
 パンとカレーシチューだったものが「カレー
 ライス」としてだされ「**カレーライス・牛乳・塩
 もみ・バナナ**」といったメニューも食べられるよ
 うになり、メニューの種類が増えました。

わしょく ちゅうしん せかい りょうり
 和食を中心にしながらも、世界の料理
さまざま りょうり どうじょう
 など様々な料理が登場しています。
じ ばさんぶつ かつよう こんだて きょうど
 また、地場産物を活用した献立や郷土
りょうり わたし す ちいき たいせつ
 料理など私たちが住んでいる地域を大切
こんだて ていきょう
 にした献立も提供されています。